

知識・理解	/20	点数  点
思考・判断・表現	/40	
資料活用の技能	/40	

【資料活用の技能】ハザードマップの凡例と地図から、必要情報を読み取り、判断できるか。  
1. 次の地図は●●市（町）の洪水ハザードマップの●●小学校の近くを拡大した地図です。この地図をみて、正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。（各8点）



### 凡例

予想される浸水の深さ	指定緊急避難場所	利用できない指定緊急避難場所
5m以上（3階浸水）	指定避難所	利用できない指定避難所
3m～5m（2階浸水）	指定緊急避難場所兼指定避難所	利用できない指定緊急避難場所兼指定避難所
0.5m～3m（床上浸水）	2階（3m以上浸水する場合は3階）以上への避難が必要な施設	
0.5m未満（1階床下浸水）	堤防より川側となり、特に注意が必要な地域	

- ① (○) ●●小学校は、●m くらいの深さまで浸水する可能性がある。
- ② (×) 「5m 未満の浸水深」の場所では、建物の2階にいれば安全だ。
- ③ (○) ●●体育館は、地震の場合は避難所に使えるが、洪水の場合は使えない。
- ④ (×) 避難先（避難所）は、必ず、自分の通っている小学校にしなければいけない。
- ⑤ (×) 洪水が起きたら、必ず、この地図の浸水深や浸水域のとおりになる。

【知識・理解】水害時の体験談の内容や水害時の状況を理解しているか。

2. 次の写真は、過去に岐阜県で起こった水害の様子です。この水害について、下の文章の( ) に当てはまる言葉を [ ] の中からえらび、記号で書きましょう。（各5点）



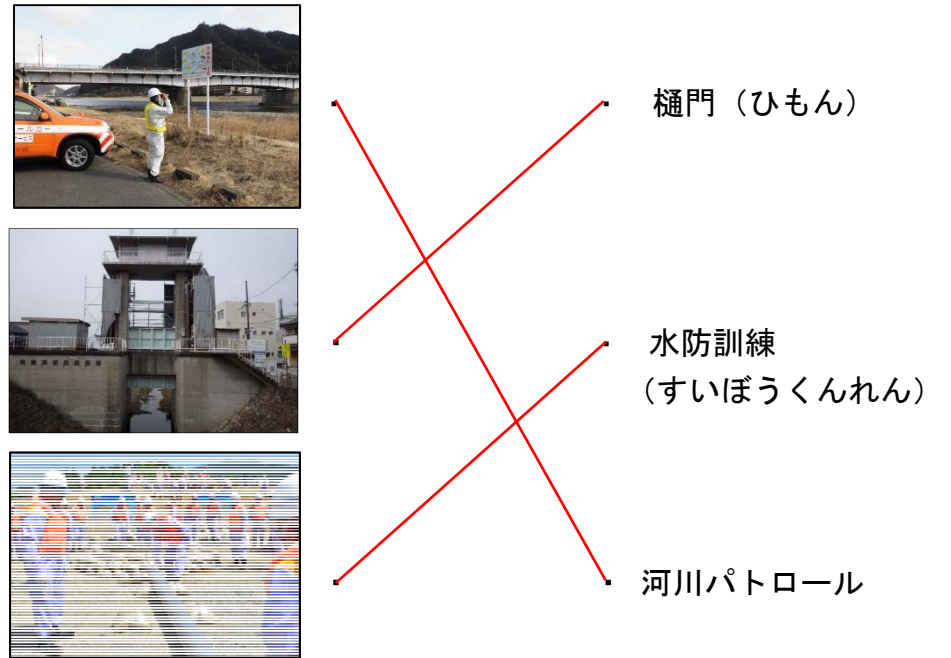
1976年（昭和51年）に岐阜県の木曾川、長良川、揖斐川を中心に大きな水害が起こりました。特に、長良川の( ① )が決壊し、広い範囲が浸水しました。起こった日付から『9.12水害』とよばれているこの水害では、家は( ② )で浸水し、水が引いたあとは( ③ )が残って、片付けにとっても苦労しました。

- ア. ダム    イ. 堤防    ウ. 清流    エ. 雨水    オ. 不衛生な水  
カ. 大きな石    キ. 泥

① : イ      ② : オ      ③ : キ

【思考・判断・表現】地域や行政の取り組みや協働について理解しているか。

3. 水害をふせぐための取り組みについて、写真と関係ある言葉を選び、一で結びましょう。（各5点）



【知識・理解】水害を防ぐための取り組みについて理解しているか。

4. 次の文の中から、正しいものを選んで記号で答えましょう。（5点）
- 水害の被害を減らすために協力しているのは国と県だけであり市は関係ない。
  - 水防団は水害から地域を守るために様々な活動をしている。
  - 国、県、市町村は災害が起こった時に避難指示や支援活動がふだんはなにもしていない。

答え: イ

【思考・判断・表現】水害発生時の適切な行動について理解しているか。

5. 台風などで水害が起こりそうな時の行動の例として、□に入る番号を答えましょう。（各5点）

3日前	1日前	半日前	5～3時間前	0時間
台風が発生	台風が接近して雨や風が強くなる	雨が集まって長良川の水が増える	長良川の水があふれそう	長良川がはらん